

**流量変換器の異常を考慮した上での運転**

(リスクの高まった施設の重点監視の事例)

**【軽減する】**

**【内容】**

- ・中央管理所にて、流量制御になっているが分土工開度0%、二次圧力0であるにもかかわらず、表示されている流量が設定流量より大きく上回っている状況を確認
- ・現場にて確認を行うと、バルブ開度は0%となっており水が流れていない状況であった。
- ・流量変換器を確認すると、設定流量以上の流量が表示されており、流量制御となっていることから、バルブが開かない状況であることを確認した。

**【対応】**

- ・バルブを全閉にしてゼロ調整を行い、自動運転に設定すると正常に立ち上がり圧力制御が正常に復帰
- ・しかし、その日の昼頃中央管理所にて確認を行うと、圧力制御でバルブも開いているが、流量が0で逆流ランプが点灯していることを確認
- ・現場にて確認すると、水は流れているが流量変換器がマイナス表示している状況

■ 流量計表示 (マイナス表示)



■ 「逆流」の異常発報



■ 各メーターの表示

実際は水が流れているのに変換器の数字を受けているため「0」を指している

圧力は設定どおりの数値を表示。今回は「1.0k」圧力制御正常作動



**【結果】**

- ・数日前にもゼロ調整を行っており、流量変換器内部の故障と考えられる。
- ・マイナス表示については、圧力制御にて水を正常に送ることができるが、大きなプラス表示となると、バルブを閉めようとし水が遅れなくなってしまふ。
- ・ゼロ調整すれば一旦は復帰するが、再発する可能性も高いため注意を払いながら運転することとした。
- ・頻繁に再発するようであれば業者にて点検整備が必要と考えられる。